

- 生活支援 貝守り 協議体
- 買物支援 配達 その他
- 移動支援 居場所づくり

地域の概要



吉野は人口増加傾向で、年少人口比率が高い。土地区画整理が進んでいる区域を中心に良好な生活環境が形成されつつある一方、道路などの生活基盤が未整備地域もある。人口約5.1万人。高齢化率29.5%

取組のきっかけ

大明丘・吉野町で野菜の販売をしている中で、坂の多い地域で買い物が大変そうな高齢者が多いと感じ、買い物に困っている高齢者に新鮮な野菜や食材を届けられないかと考えるようになった。また、野菜の販売を通じて出会う地域高齢者の他の困り事にも気づき、家族や友人と生活支援のボランティア団体を立ち上げた。

取組の目的

- 困ってる人が喜んでくれる仕事をしたい。
- 高齢者でも、障害があっても、暮らせる地域をつくりたい。
- 困っている方の駆け込み寺のような存在になればと思っている。

これまでの経緯

年・月	出来事
平成25年頃～	野菜の販売所、野菜の移動販売を開始
	野菜の販売を通じて地域の高齢者と関わる中で、様々な生活課題に気づく
令和3年8月	大明丘地区で高齢者に対する買物支援や居場所づくりをしたいとSCへ相談
令和3年12月	一緒に活動をする知人と『みんサポ応援講座(支えあい活動従事者研修会)』を受講
令和4年4月	支え合い活動団体発足、市の新規事業「支えあい活動補助金」を申請
令和4年5月	地域住民へ活動を知ってもらうため、広報チラシを作成し配布
令和4年6月	チラシを見た地域の高齢者から買い物の支援依頼があり、生活支援活動がスタート
令和4年6月～	支援を受けた高齢者から活動が口コミで広がり、ゴミ出し、草刈り等の支援をスタート

活動の概要

◆**活動内容**： ゴミ出し、買物代行、草刈り、庭の手入れ、外出付添、家具移動、電球交換など

◆**活動範囲**： 鹿児島市吉野地区、大明丘地区、他必要に応じて

◆**利用料**： 1,000円/1時間（応相談）

◆**対象者**： 地域内の高齢者等

◆**構成員**： 4名

◆**利用者**： 7名（令和4年度）

取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- 事業の枠組み、仕組み作り
- 周知広報(HP等に事業内容掲載)
- 担い手育成
(支えあい活動従事者研修会実施)

〔SCとしての役割〕

- 活動に関する相談
- 活動状況の把握
- 支援が必要な方とのマッチング
- 補助金に関する事務手続きのサポート

現時点での到達点(効果・課題など)

〔効果〕

- 手を差し伸べられたらの気持ちではじめて、簡単な作業でも感謝の気持ちを頂き、元気をもらえた

〔課題〕

- 広報活動の難しさ
(チラシ掲載が断られるケースもあり)